

ミニ空調契約

(選 択 約 款)

平成22年1月1日

埼 玉 ガ ス 株 式 会 社

ミニ空調契約（選択約款）

1. 目 的

この選択約款は、業務用空調分野における小型空調機器の普及を通じて、当社の供給設備の効率的使用を図り、もって合理的・経済的なガス需給の確立に資することを目的といたします。

2. 選択約款の届出及び変更

- (1) この選択約款は、ガス事業法第17条第7項の規定に基づき、関東経済産業局長に届け出たものです。
- (2) 当社は、関東経済産業局長に届け出てこの選択約款を変更することがあります。この場合、当社は変更内容をあらかじめお客さまに通知の上、ガス料金その他の供給条件を変更後の選択約款によるものとします。
- (3) 当社は、一般ガス供給約款（以下「供給約款」といいます。）を変更した場合には、変更内容をあらかじめお客さまに通知の上、この選択約款を変更することがあります。

3. 用語の定義

- (1) 「小型空調機器」とは、エネルギー源としてガスを使用する空調用熱源機のうち、ガスエンジンヒートポンプ方式の機器及び冷凍能力105.5KW30US.RT以下のガス吸収式の機器をいいます。
- (2) 「消費税等相当額」とは、消費税法の規定により課される消費税及び地方税法の規定により課される地方消費税に相当する金額をいいます。この場合、その計算の結果、1円未満の端数が生じた場合には、その端数を切り捨てます。
- (3) 「消費税率」とは、消費税法の規定に基づく税率に地方税法の規定に基づく税率を加えた値をいいます。なお、この選択約款においては5%といたします。
- (4) 「単位料金」とは、8に定める基準単位料金又は調整単位料金をいいます。

4. 適用条件

お客さまが、小型空調機器を使用し、小型空調機器のガスの使用量を計量する専用のガスメーターを設置する場合に、当社に対してこの選択約款の適用を申し込むことができます。

5. 契約の締結

- (1) お客さまは、適用する料金その他の供給条件を定めたミニ空調契約第1種、ミニ空調契約第2種又はミニ空調契約第3種のいずれかを当社と契約していただきます。
- (2) 契約期間は次のとおりといたします。
 - ① 新たにガスの使用を開始した場合は、料金の適用開始の日から同日が属する月の翌月を起算月として12ヶ月目の月の検針日までといたします。
 - ② 契約種別を変更した場合は、変更後の契約の契約期間は、契約種別の変更の日の翌日からその変更の日の属する月の翌月を起算日として12ヶ月目の月の検針日までといたします。

- ③ 契約期間満了時において当社とお客さまの双方が契約内容について異議のない場合には、契約は、契約期間満了日の翌日からその満了日の属する月の翌月を起算日として12ヶ月目の検針日まで同一条件で継続するものとし、以降も同様といたします。
- (3) 当社は、本契約の契約期間満了前に解約又は供給約款に定める料金への変更をしたお客さまが、再度同一需要場所で本契約の申し込みをする場合、その適用開始の希望日が過去の契約の解約の日又は契約種別の変更の日から1年に満たない場合には、その申し込みを承諾しないことがあります。ただし、設備の変更又は建物の改築等のための一時不使用による解約又は契約種別の変更の場合は、この限りでありません((4)においても同様といたします。)
- (4) 当社は、本契約の契約期間満了前にこの選択約款に定める他の選択約款(供給約款に定める料金を除きます。)への変更を申し込みされた場合には、その申し込みを承諾しないことがあります。

6. 使用量の算定

各月使用分の使用量は、前月検針日及び当該月の検針日におけるガスメーターの読みにより算定いたします。ただし、当該月の検針日以降、当該月内に解約を行った場合には、当該月の検針日及び解約を行った日のガスメーターの読みにより算定いたします。

7. 料 金

- (1) 当社は、別表の料金表を適用して、料金(以下「早収料金」といい、消費税等相当額を含みます。)を算定いたします。
- (2) 当社は、料金の支払いが、供給約款に規定する支払義務発生日の翌日から起算して20日以内(以下「早収料金適用期間」といいます。)に行われる場合には、早収料金を、早収料金適用期間経過後に支払いが行われる場合には、早収料金を3%割り増したもの(以下「遅収料金」といい、消費税等相当額を含みます。)を料金としてお支払いいただきます。なお、早収料金適用期間の最終日が休日の場合には、直後の休日でない日まで早収料金適用期間を延長いたします。

8. 単位料金の調整

- (1) 当社は、毎月、(2)②により算定した平均原料価格が(2)①に定める基準平均原料価格を上回り又は下回る場合は、次の算式により別表の2の各料金表の各基準単位料金に対応する調整単位料金を算定いたします。この場合、基準単位料金に替えてその調整単位料金を適用して早収料金を算定いたします。なお、調整単位料金の適用基準は、別表の1(3)のとおりといたします。
- ① 平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき
調整単位料金(1立方メートル当り)
$$= \text{基準単位料金} + 0.076 \text{円} \times \text{原料価格変動額} / 100 \text{円} \times (1 + \text{消費税率})$$
- ② 平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき
調整単位料金(1立方メートル当り)
$$= \text{基準単位料金} - 0.076 \text{円} \times \text{原料価格変動額} / 100 \text{円} \times (1 + \text{消費税率})$$

(備 考)

上記①、②の算式によって求められた計算結果の小数点第3位以下の端数は、切り捨て。
(2) (1)に規定する基準平均原料価格、平均原料価格及び原料価格変動額は、以下のとおりといたします。

① 基準平均原料価格(トン当たり)

10,040円

② 平均原料価格(トン当たり)

別表の1(3)に定められた各3か月間における貿易統計の数量及び価額から算定したトン当たりLNG平均価格(算定結果の10円未満の端数を四捨五入し10円単位といたします。)をもとに次の算式で算定し、算定結果の10円未満の端数を四捨五入した金額といたします。ただし、その金額が16,060円以上となった場合は、16,060円といたします。

平均原料価格=LNG平均価格×0.27

(備 考)

トン当たりLNG平均価格は、当社の営業所に掲示いたします。

③ 原料価格変動額

次の算式で算定し、算定結果の100円未満の端数を切り捨てた100円単位の金額といたします。

イ 平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

原料価格変動額=平均原料価格-基準平均原料価格

ロ 平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき

原料価格変動額=基準平均原料価格-平均原料価格

9. その他

その他の事項については、供給約款を適用いたします。

付 則

1. この選択約款の実施時期

この選択約款は、平成22年1月1日から実施いたします。

2. この選択約款の実施に伴う切り替え措置

当社は、平成21年12月31日まで旧選択約款の適用があり、平成22年1月1日以降この選択約款が適用されるお客さまについて、平成22年1月1日が含まれる料金算定の早収料金は、次の算式により算定いたします。

早収料金

=旧選択約款適用期間の早収料金+この選択約款適用期間の早収料金

旧選択約款適用期間の早収料金（小数点以下の端数切り捨て）

$$= \text{旧選択約款の基本料金} \times D_1 / D + \text{旧選択約款の単位料金} \times V_1$$

この選択約款適用期間の早収料金（小数点以下の端数切り捨て）

$$= \text{この選択約款の基本料金} \times D_2 / D + \text{この選択約款の基準単位料金} \times V_2$$

（備 考）

D = 料金算定期間の日数（ただし、供給約款に定める 22(6)の規定が適用される場合であって、料金算定期間の日数が 24 日以下又は 36 日以上となった場合は、基本料金按分の算定式の D を 30 日とします。）

D_1 = D のうち平成 21 年 1 月 31 日までの期間に属する日数

D_2 = D のうち平成 22 年 1 月 1 日以降の期間に属する日数

V = 料金算定期間の使用量

V_1 = 旧選択約款適用期間の使用量

$$= V \times D_1 / D \text{（小数点以下の端数切り上げ）}$$

V_2 = この選択約款適用期間の使用量

$$= V - V_1$$

（別 表）

1. 料金及び消費税等相当額の算定方法

- （1）早収料金は、基本料金と従量料金の合計といたします。
- （2）従量料金は、基準単位料金又は 8 の規定により調整単位料金を算定した場合は、その調整単位料金に使用量を乗じて算定いたします。
- （3）調整単位料金の適用基準は、次のとおりといたします。
 - ① 料金算定期間の末日が 1 月 1 日から 1 月 31 日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年 8 月から 10 月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ② 料金算定期間の末日が 2 月 1 日から 2 月 28 日（うるう年は 2 月 29 日）に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、前年 9 月から 11 月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ③ 料金算定期間の末日が 3 月 1 日から 3 月 31 日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、前年 10 月から 12 月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ④ 料金算定期間の末日が 4 月 1 日から 4 月 30 日に属する料金算定期間の料金の算定に

あたっては、前年11月から当年1月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。

- ⑤ 料金算定期間の末日が5月1日から5月31日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、前年12月から当年2月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
- ⑥ 料金算定期間の末日が6月1日から6月30日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、当年1月から3月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
- ⑦ 料金算定期間の末日が7月1日から7月31日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、当年2月から4月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
- ⑧ 料金算定期間の末日が8月1日から8月31日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、当年3月から5月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
- ⑨ 料金算定期間の末日が9月1日から9月30日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、当年4月から6月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
- ⑩ 料金算定期間の末日が10月1日から10月31日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、当年5月から7月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
- ⑪ 料金算定期間の末日が11月1日から11月30日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、当年6月から8月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
- ⑫ 料金算定期間の末日が12月1日から12月31日に属する料金算定期間の料金の算定にあたっては、当年7月から9月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。

(4) 早収料金及び遅収料金に含まれる消費税等相当額は、それぞれ次の算式により算定いたします（小数点以下の端数切り捨て）。

- ① 早収料金に含まれる消費税等相当額＝早収料金×消費税率÷（1＋消費税率）
- ② 遅収料金に含まれる消費税等相当額＝遅収料金×消費税率÷（1＋消費税率）

2. 料金表

(1) 適用区分

料金表1 ミニ空調契約第1種（年間の使用量が1,200立方メートル以上の場合）に適用いたします。

料金表2 ミニ空調契約第2種（年間の使用量が800立方メートル以上1,200立方メートル未満の場合）に適用いたします。

料金表3 ミニ空調契約第3種（年間の使用量が800立方メートル未満の場合）に適用いたします。

(2) 料金表1 (消費税等相当額を含みます。)

① 基本料金

1 か月につき	2,443.35円
---------	-----------

② 基準単位料金

1 立方メートルにつき	82.95円
-------------	--------

③ 調整単位料金

②の基準単位料金をもとに8の規定により算定した1立方メートル当りの単位料金といたします。

(3) 料金表2 (消費税等相当額を含みます。)

① 基本料金

1 か月につき	1,299.90円
---------	-----------

② 基準単位料金

1 立方メートルにつき	94.50円
-------------	--------

③ 調整単位料金

②の基準単位料金をもとに8の規定により算定した1立方メートル当りの単位料金といたします。

(4) 料金表3 (消費税等相当額を含みます。)

① 基本料金

1 か月につき	745.50円
---------	---------

② 基準単位料金

1 立方メートルにつき	102.90円
-------------	---------

③ 調整単位料金

②の基準単位料金をもとに8の規定により算定した1立方メートル当りの単位料金といたします。